

# 平成30年度 豊田市当初予算編成方針

## 1 財政見通し

わが国の経済は緩やかな回復基調にあり、本市の基幹産業である自動車関連の生産活動も緩やかに増加しています。しかしながら、本市の中期の財政見通しは、国の税制改正（法人市民税の一部国税化等）や地方交付税の合併特例措置の終了により大幅な減収が見込まれるとともに、高齢化等に伴う社会保障費の増加が見込まれ、依然として厳しい財政運営が続きます。

このため、先を見据えた持続可能な財政運営を行うために、引き続き行財政改革を推進し、歳入規模に見合った適切な予算規模へ転換を図ります。

## 2 予算編成の基本方針

平成30年度当初予算は、以下の3点を基本方針として編成します。

- (1) 第8次総合計画を着実に推進します。
- (2) 将来のまちづくりに向けた投資を計画的かつ効果的に行うとともに、課題解決のため早期の効果発現を期待する事業を見極め、適切に対応します。
- (3) 歳出の適正化、歳入の積極的な確保を進め、財務体質の強化を図ります。

## 3 具体的な取組

基本方針に基づき、以下の項目に取り組みます。

### (重点的に取り組む施策)

- (1) 第8次総合計画を着実に推進するために必要な予算を配分します。特に、以下の重点施策事業に予算を優先的に配分します。
  - ア 超高齢社会への適応  
～安心して自分らしく暮らすことができる多世代共生のまちの実現～
  - イ 産業の強靱化  
～暮らしと活力を支える強固な経済基盤のあるまちの実現～
  - ウ 暮らしがよし・訪れてよしの魅力創出  
～定住・交流人口を引き付ける魅力あるまちの実現～
- (2) ラグビーワールドカップ 2019™等及びその後に向けた豊田市ビジョンである「とよたビジョン TRY FOR ALL ～世界に熱いまちを魅せよう」を推進するために必要な予算を配分します。

### **(市民の暮らしを守る取組)**

- (3) 社会保障等、市民の安全・安心な暮らしを守るための必要額を確保します。
- (4) 誰もが利用しやすい公共施設等を目指した取組に必要な予算を適切に配分します。

### **(投資的経費の確保)**

- (5) 普通建設事業費は、引き続き300億円以上を確保します。
- (6) 新たに構築した普通建設事業マネジメント体制により、事業の優先度付けや適切な仕様の検討など、総合的な調整を行った上で、戦略的に予算を配分します。
- (7) 市債や基金は、中長期的な残高水準に留意しながら有効活用します。

### **(財務体質の強化に向けた取組)**

- (8) 新規事業、拡大事業については、特定財源の確保や既存事業の縮小・廃止による一般財源の確保を徹底します。
- (9) 全庁で取り組む「事業・事務の最適化」による見直しを適切に予算に反映します。特に内部事務経費等の見直しは早期に実施します。
- (10) 国県補助制度等の情報収集に努め、積極的に確保するとともに、市有財産の貸付・売却や広告事業、未収債権の削減など積極的な歳入確保に努めます。
- (11) 特別会計、企業会計、公社協会等にも本方針を周知徹底し、財務体質の強化に取り組めます。